



(別紙) 令和6年度第2回北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 座長あいさつ</b></p> <p><b>3 議事</b> 協議事項</p> <p>(1) 北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱の改正について事務局から説明 質問、意見等がないため、資料1のとおり改正</p> <p>(2) 第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンに係る新規連携事業について</p> <p>(3) 第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの素案について関連する協議事項のため、一括で協議</p> <p><b>【質疑応答等】</b> (移住定住促進事業について)</p>
委員	<p>自分の町で言いますと、本当に若者が流出しています。高齢者が多く、移住してくる人もおらず、区長をする者もいなくなることが見込まれます。高齢者や空き家が増えることから、真剣に移住定住を考えるべきだと思っています。どうしたら良いかを考えると、PRが重要だと思います。色々な施策をしていますが、それを発信する力が弱いと思います。Uターン情報を観光地、正月やお盆に人が集まる店舗等に置いている自治体があります。広報に載せてもほとんどの人は見ないと思います。しかし、道の駅等に置くと帰省してきた人等が見ます。PRをどうするかを考えていくべきだと思います。他にも同じようにスーパー等の店舗に置いている自治体があります。取り組んでいることもあるかもしれませんが、道の駅等のみんなが集まるようなところに置いて集客するのが良いと思います。それから、なぜ人が帰ってこないかということを考えていただきたいです。良いところも多くあるが、周知する機会がないので、どうすれば周知しやすいかをこういう場で議論するべきだと思います。</p>
担当	<p>良い所をどうPRするかが重要だと日々業務をしながら感じております。その点でも3市1町で連携して都市部でPRすることは重要だと思っています。</p>
委員	<p>関係人口という言葉もあります。いきなり移住するのはハードルが高いので、まずは良さを知ってもらうことが重要です。知らない良さを分らず、行ってみると良さがわかると思います。住んでいた人は良さを分かっていると思うのですが、来たことない人にとっては未知の世界なので、知ってもらうことに工夫がいろいろあると思います。</p>
委員	<p>(圏域農産物の学校給食での使用事業について)</p> <p>県でも地産地消が推進されています。地元で体制を固めてからとというのもその通りだと思いますし、工業製品ではないので正確なサイズが決まっていないので、扱いが難しいところもあると思います。しかし、何かできるような形で持っていただければ良いかなと思います。</p>
担当者	<p>現状を踏まえると、色々と問題を解決しながら取り組んでいかないといけないと思っています。実際、地元農家の育成、連携が進むことで、取組が可能になる</p>

	<p>と思っています。現状で農業について、集落営農、組織化、地域計画に基づく担い手の育成、そういった取組もあります。農業者の育成が進み、安定的な供給についても一緒に検討を進めていきたいと思っています。</p>
委員	<p>次の段階がなるべく早く来ることを期待しています。</p>
委員	<p>(南海トラフの給水体制、復旧計画の構築に関する事業について)</p> <p>8月に南海トラフ地震臨時情報が出ました。また、能登の復興がかなり遅れている状況です。県のホームページに、南海トラフ地震で上下水道の被害想定が掲載されています。加西市で水道の断水が1,978人、加東市は967人、西脇は2,332人、多可町は758人、下水道が3市1町で1,059人とあります。上下水道は一番重要なので、私も調べる良い機会になりました。今後、必ず起きるので、実際は想定よりも大きいかもかもしれないし、小さいかもかもしれません。本当に国や県レベルの話だと思います。3市1町でどの程度できるのかはなかなか難しいと思います。能登を見ていると復旧はかなり厳しいと感じます。南海トラフとなると更に大きな規模なので、考えていただきたいと思いました。能登でも考えられていたと思うのですが、実際にはあまり機能していないということが起こっています。3市1町で小さなことでもいいので、やっていただけるとありがたいということで提案させていただきました。</p> <p>図上訓練について発信いただけるということで、実際に住民の方々に市町が取り組んでいると発信できるのでありがたいと思います。</p> <p>人口が減少し、国、市町の収入がかなり落ちることは間違いないです。効果の高い事業、人口が減少しても緩やかにソフトランディングするにはどうしたらいいのかを考える必要があります。税収が減ると人件費も減らす必要が出てきます。少ない人数で効果を上げていくことが求められるようになります。そう遠くない未来だと思います。記載のあるように、加西市でも西脇市でも1万人規模で減ることが予測されています。実際、黒田庄と合併した時の4万6千人ぐらいから3万6千～5千人まで減っており、更に1万人くらいそこから減るとなると優先順位を考えるべきだと思います。次回は優先順位を考慮して、事業を構成していただければと思います。もう目に見えてるわけで、もうそろそろ真剣に取り組まないといけないと思っています。</p>
委員	<p>第3次共生ビジョンには具体的には出てこないかもしれませんが、どこかの機会で動けるように考えていただけるとありがたいと思います。</p>
委員	<p>(観光ルートの開発、イベント出展、意見交換会の実施について)</p> <p>実施していただけることは非常に評価したいと思います。また、共生ビジョンは、必要な具体的な取組を明らかにすることが目的になっています。明らかにすることは、当然実施する、最終的には実施しなければならないと思っています。特に観光事業であれば担当者が一緒に知恵を絞って、協力すれば、必ず可能だと思っています。これからの実施を期待して見ていきたいと思っていますので頑張ってくださいと思います。</p>
委員	<p>移住定住の話と結びついてくるとと思います。観光で人を呼んで、関係人口が増えて、移住に結びつけば良いのかなと思います。横の連携を密にやっていただければと思います。</p>
委員	<p>去年は紅葉のスタンプを押すイベントがあったように思います。紅葉の季節は、</p>

	<p>行くところがたくさんあります。ルートも非常に大切だと思います。ただ、いつ行くかという時期の問題もあります。3市1町の中で、この紅葉はこの辺りで一番だと言う人が結構おられる場所がありますが、それは一番ピークに来ているからそう言われるのです。例えば、ピークから外れたり、ピークが終わってから行っても、魅力が伝わりません。いつ行くかが大切です。一番綺麗なときに行けるかどうかが一番ポイントだと思います。ピークだとか、いつが綺麗かという情報を上手く発信してもらいたいです。初めて行ったお寺で、私が行った時は全然ピークではなくて、残念に思ったことがあります。いつ行ったら良いか分かりませんでした。今だと加西市ではここがピーク、西脇市ではここがピークで、効率的に回るにはこのルートが良いという発信があると、周回することができます。SNSに掲載する人も多く、写真撮る人がたくさんいます。そういう取組があると、若い人も年配の人も、写真を撮る人にたくさん来てもらえて、魅力が伝わると思っています。</p>
担当	<p>紅葉のピークに各市町で揃えて周回するルートを発信することは、気温等の関係もあり難しいと思いますが、ご意見をふまえて検討させていただきたいと思えます。</p> <p>今年度につきましては紅葉ではなく、趣向を変えて新緑のスタンプラリーを実施しました。紅葉の季節とはまた違った雰囲気、すごい清々しくて綺麗だというご意見をいただいております。また、紅葉の時期とは違う時期の見どころというところも各市町と連携しながら話し合っていきたいなと思っております。</p>
委員	<p>(スクールバス活用事業について)</p> <p>地域の移動ニーズに応えるため、特に交通空白地においてスクールバスの活用を検討することは地域の活性化及び限られた輸送資源の活用につながり、有効な方法であると考えています。今後各市町で検討を進める際に、市町ごとにスクールバスの事業規模や使用する車両タイプが異なることを踏まえながら、一方で、各地域の具体的な状況や課題を把握し、それを基に生活交通路線としての必要性や実現可能性、どのような形で提供することが最適かを検討することが重要だと考えています。併せて、既存の公共交通のネットワークとの調整や役割分担の協議も重要だと考えております。引き続きよろしくお願ひいたします。</p>
委員	<p>(子育て支援事業について)</p> <p>北播磨エリアで思うのは、子育ての鍵となる施設等がありません。他のエリアでは、大きな施設があったり、施設に相談員がいてショートステイで子どもをすぐに預かってもらえたり、児童相談所に代わるものがあります。子どもの相談を専門的に24時間聞いてくれるようなところも兵庫県内の他のエリアではあります。そのため、子育て支援をされる方が機関に替わることができるぐらいスキルアップしていきたいという意味を込めてこのような事業をされることは有意義であると思えます。</p> <p>将来的に、子育てを考えていくのであれば、施設とは言いませんが、相談にいつでも行けるような拠点があれば、困っておられる方々やその方々のニーズを情報収集することができると思えます。そのような拠点も今後、目標の一つに考えていただけるとありがたいと思えます。</p>
担当	<p>現状、365日24時間対応の子育ての相談に対応できる施設はありません。DVであったり児童虐待であったりの分野だと思いますが、その分野に関しましては、所管部局と連携しながら今後検討していきたいと思えます。施設の拠点というところという、各市町の児童館や子育てひろばで、事業を展開しているところで</p>

	<p>ありますが、そういったところを活用することが考えられます。一方で、こども園の無料化により預ける方が増加しています。これはどうかと言われる部分もありますが、労働力が不足する社会の中で女性の活躍も言われており、小さいころから預けられることは必要なことだと思っています。全体的な子育て施策として考えていく必要があると思っています。</p>
委員	<p>(性的指向・ジェンダーアイデンティティの多様性啓発推進事業について) 事業費が0円になっていますが、よろしいのでしょうか。</p>
担当	<p>合同研究会は、担当者で実施しますので、基本的に0円になります。共同事業はどのようなことを実施するか今のところ未定となっておりますので現時点においては0円となっております。</p>
委員	<p>合同研究会の対象は内部の人ということですか。</p>
担当	<p>東京で大規模な啓発イベントが今年の4月に行われました。企業がスポンサーとなり、2日間で延べ約27万人を集めて開催されました。規模を縮小したとしても、圏域で開催することは難しいと思います。一番大事なことは、当事者の方が何を望んでいるのかということだと思います。LGBTQ+についての学習会などを開いたり、パートナーシップ制度をより使いやすくしていく方を望んでおられる可能性が高いと思っています。まず担当者、さらに関係する職員がしっかり学び、それを住民の方に広げていくというような手順を取ることが必要だと思っています。</p>
委員	<p>一部の人にしっかりと研修することも大切だと思いますが、地域の方にも理解を深めていただくために、内部で学んだ人たちが地域の方に伝えていくような仕組みが必要だと思います。</p>
担当者	<p>令和9年度から予定しております共同事業で地域の方の理解を深めていただきたいと考えています。</p>
委員	<p>自治会でも啓発ビデオ等で、啓発が進んでいると思います。できるだけ今取り組んでいる活動も上手く取り入れていただけたらなと思いました。</p>
担当	<p>各市町の方で取り組んでいる啓発事業の方も取り入れてやっていきたいと思っています。</p>
委員	<p>婚活の話で、やはり出会いが大切で、力を入れないといけないと思います。この前、犬好きのための婚活パーティーというイベントを目にしました。男性10名、女性10名の募集でした。犬好きであれば話も合うし、おもしろいアイデアだと思いました。例えば、トレッキングや山登りが好きな人を集めるのも一つの方法だと思います。単独の市だけでやることが多いかもしれませんが、3市1町でしたら参加者が10名どころではなく、20名くらいに増えると思います。業者に委託しているということもあるかもしれませんが、3市1町でアイデアを出し、連携して開催すれば参加者も増えると思います。色んなリスクがあるとは思いますが、輪を広げることが大切だと思います。</p> <p>また、周知の方法に関して、やはり観光案内所やスーパーに、地元に戻ってきた人に良さを伝えるポスターやパンフレット、リーフレットを置いてもらえたらと思います。難しいと思うのですが、みんなが集まる場所に置いてはどうか</p>

担当	<p>という提案させていただきたいと思います。</p> <p>今回新規事業として、合同でのイベント開催も話し合ったのですが、まずはそれぞれの市町で開催していくというところと、参加者を集めるところが課題になっております。参加者が増えると、人を集めることも難しいというところと、イベントの規模が大きくなると、労力や費用も大きくなるというところもあり、今回については見送りをさせていただいたのですが、今後の参考にさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>(第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの素案について)</p> <p>医療連携室連携強化事業の指標について、北はりま絆ネットの運用実績は、各市町の医療連携の成果指標として、各病院間の患者さんの情報連携をスムーズにして、重複した検査を回避するとか、効率的に患者さんの対応をする上で、非常に大事な指標だと思います。一方で、地域包括ケア病棟の年間病床使用率は、医療連携の指標としてはあまり意味がないと思います。当然大切な数字ですが、各病院ではほぼ単独で行う取組ですので、この医療連携のを指標としては外しても問題ないと思います。ご一考いただければと思います。</p>
事務局	<p>担当課にも確認を取り、必要に応じて見直したいと思います。</p>
委員	<p>経緯は分からないが、甲の役割、乙の役割という記載があります。文言は甲と乙が入れ替わっているだけで似たような記載になっています。</p> <p>この事業に対しては例えば加西市が主担当であるとか、この案件については加東市が主担当であるとか、誰がとりまとめをしているかも良く分かりません。</p> <p>加えて、医師の相互応援も一つすごく大事なことだと思いますが、病診連携が進んでいる自治体もあります。診療所の機能と病院の機能は異なり、診療所で色んな測定をし、それをデータ化され、病院に送られるので、1から検査しなくても良い取組をしている自治体があると聞きました。将来的にそのような取組もあれば良いと思いました。</p>
委員	<p>加東市と加西市が中心市であるのは冒頭のどこかに書いてあるので、甲、乙という記載は削除しても良いと思います。できるだけ必要でないものは、減らした方が良いと思います。</p>
事務局	<p>当初の作ったときの経緯は、資料を持ち合わせていないので分からないが、調査研究等の甲と乙の役割分担がしにくいような事業について、同じような表記になっていると思います。甲と乙の役割ですが、実際の各市町との協定書に記載のあるものを掲載しています。協定書は議会の議決を取っておりまして、取組内容、甲の役割、乙の役割という同じ様式で記載しています。実際の協定書につきましては、そのような形式で記載させていただきたいと思っているのですが、共生ビジョンについては、また検討させていただければと思います。</p>
委員	<p>事業をされるときは、どこかの市が主導的にされていることになるんですか。</p>
事務局	<p>事業ごとに中心市の加東市もしくは加西市のどちらかがとりまとめ市となり事業を進めているという状況です。</p>
委員	<p>甲と乙の記載についてはご検討をお願いします。病診連携についてはご参考いただければと思います。</p>

委員	<p>圏域内では北はりま絆ネットを通じて、診療所が病院に紹介をいただくときには、紙ベースの紹介状が基本となっています。しかし、紹介いただいた患者さんが病院から診療所へ戻られるときは、絆ネットを通じて、患者さんの状態であったり、病状のデータであったり、お薬の状態が自動的に見えるようになっていきます。まだ、一方通行なところもありますが、両方活用できるようになれば、絆ネットもさらに利用価値が高まるというふうに考えておりますので参考にさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>例えば児童虐待防止事業の事業概要で虐待防止事業を実施するという記載になっており、具体的な内容が分かりません。事業実施件数は1件というのは、各市町が1件ずつ実施した場合、1件ということでしょうか。また、事業費が100万円で計上されてるのですが、根拠はありますか。</p>
事務局	<p>この児童虐待防止事業につきまして、現在1市で実施している事業に、各市町から参加者を募るといった形だったものを、今後は各市町でそれぞれ事業を実施して、それぞれに利用が可能な状況を作るという体制を作ることになっているため、各市町で、具体的にどのような事業に取り組むか決まっていなかった状況であることから、具体的に書けていないと聞いています。各市町で1件ずつ実施した場合、4件になります。事業費は現在既に実施している事業の事業費です。</p>
委員	<p>最終4件実施した場合でも12万円しか増加していないのはどういうことでしょうか。</p>
事務局	<p>各市町で想定している事業の規模から想定した金額になっています。</p>
委員	<p>事業概要について、もう少し具体的に記載した方が良いと思います。</p>
委員	<p>地域公共交通調査研究事業でJR加古川線の年間利用人数の指標がありますが、どこの駅の数字でしょうか。また、少子化で人口が減少する中、利用者は増えていくという推移になっていますが、どのような根拠でしょうか。</p> <p>それと住民窓口の相互利用事業で、この指標についても令和5年度の768件から増加する推移になっています。この相談件数は、利用促進の広報により増えていくのか、トラブルの件数が増加傾向であるから増えていくと考えているのでしょうか。</p> <p>それから性的指向・ジェンダーアイデンティティの多様性啓発推進事業でも、職員の研究会が指標になっていますが、目的から考えると自治会でのビデオ貸し出し件数等の指標があっても良いと感じました。</p>
事務局	<p>公共交通広域連携調査・研究事業の指標で、鉄道の年間利用人数を計上していますが、JR加古川線につきましては、加東市と西脇市の全ての駅の利用者数を計上しています。北条鉄道が通っているのが小野市と加西市になるのですが、駅ごとの利用者数が出ていません。小野市については粟生駅しかないのですが、粟生駅で乗れば加西市内のどこかの駅で降りるということで利用者数に含んでも大きな影響はないと考え、北条鉄道全ての利用者数を計上しています。</p> <p>人口が減少するのになぜ増えていくのかということについてですが、JR加古川線の利用者数については、西脇市でも加東市でも非常に厳しい推測になっています。ただ、北条鉄道の利用者数の伸びが大きなものになっており、その分を合計すると、少しずつ増え、今後5年間は増加の余地があると推測しています。</p>

<p>担当</p>	<p>2点目の消費者行政推進事業についての指標について、年々増加していますが、消費者トラブルを防止する目的で相談の窓口の啓発等を広げていくということ設定しているものがございます。もちろん消費者被害がないということが一番良い状況ではありますが、まだまだ被害が出ているような状況です。相談ができない、未然に防止できる方が相当数いると想定し、増えて良いと思います。</p> <p>性的指向・ジェンダーアイデンティティの多様性啓発推進事業においては、住民を対象とした合同事業を令和9年度から実施したい思っております。人権ビデオの方の貸し出しというのは各市町で既にやられていることと思います。それとはまた別で、3市1町で連携して行う事業を記載しています。</p>
<p>委員</p>	<p>各市の特産物で、加西市では、ぶどう、酒米、お酒等が書いてあるのですが、市内企業の家電がとても人気があるので、記載してはどうかと思います。また、観光名所で、多くのところがあり難しいのですが、加西アルプスに皆さん行っていただきたいなと思います。観光名所等色んな検討が必要かと思います。多可町では、巻きずしが全国的に有名なので、記載してはどうかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>固有名詞を記載しても良いのかを協議していただきたいと思います。公平性の問題もあるので検討していただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>重複した表現とかは省いていただき、具体的でわかりやすい表現にしてもらえるとありがたいなと思います</p> <p><b>4 その他</b> 今後のスケジュールについて</p> <p><b>5 閉会</b> 副座長挨拶</p>